

5-1 東海・南関東地域の地震活動（1992年11月～1993年4月）

Seismic Activity in the Tokai and Southern Kanto Districts (November, 1992 - April, 1993)

気象庁地震予知情報課

Earthquake Prediction Information Division
Japan Meteorological Agency

第1図(a)～(f)は1992年11月～1993年4月の東海・南関東地域における月別震央分布図、第2図(a)・(b)は1992年11月～1993年1月と1993年2月～4月の3か月間ごとの震央分布図、第3図は1992年1月～12月の1年間の震央分布図である。いずれも震源の深さが90km以浅の地震の震央を示してある。第4図(a)・(b)は1992年11月～1993年1月と1993年2月～4月の3か月間ごとの主な発震機構解である。この期間、特に目立った地震活動としては、4月23日長野県西部のM5.1の地震があった（本巻別項参照）。

東海地域は、愛知県中部で1月11日、M4.8の地震があった他は目立った活動はなかった。伊豆半島東方沖では1月、およそ1年ぶりに群発地震が発生した。また紀伊半島南東沖で2月～3月に小規模な群発地震活動があり、新島・神津島近海の地震活動がやや活発だった（それぞれ本巻別項参照）。南関東地域とその南方海域では昨年12月31日以来、M4.0以上の地震（深さ90km以浅）が発生していない（本巻別項参照）。

各月の活動状況は次のとおり。

11月：この月のMの最大は茨城県南西部のM4.7（28日09時46分）、深さは60kmで最大震度は3（宇都宮）であった。東海地域は特に目立った活動はなかった。静岡県中部でM3.6（7日12時30分）、深さ24kmで最大震度2（静岡）の地震、東海道はるか沖でM3クラスの地震が発生した。愛知県中部から北部でM3クラスの地震が3個あった。伊豆半島東方沖の活動は極めて静穏だった。新島近海でM3クラスの地震が3個あり、新島・式根島付近での活動は継続中だが、前月より活動レベルは低下した。そのほか上記茨城県南西部のM4.7の地震、茨城県中部のM4クラスの地震が目をつけた。

12月：Mの最大は茨城県南西部のM4.5（4日23時00分）、深さ66kmで最大震度は3（水戸）。東海地域は特に目立った活動はなかった。遠州灘でM3クラス、東海道はるか沖でM3クラスの地震2個が発生した。また愛知県中部と三重県南部、中部、北部および山梨県西部、長野県南部でM3クラスの地震があった。伊豆半島東方沖はこれまでの低レベルな活動と比較しやや活発だった。少し沖合でM3.2（6日）、深さ14km、最大震度1（網代）の地震とすぐ沖合でM3.9（10日）、深さ6km、最大震度3（網代）の地震があった。周辺地域では上記茨城県南西部のM4.5の地震のほか、千葉県北部でM4.4（9日16時13分）、深さ46kmで最大震度2（銚子）の地震があり、余震がかなり発生し11日までやや活発だった（15日までに決定された余震数は23個）。その他、和歌山県中部、神奈川県東部、茨城県沖でM4クラスの地震があった。また、この図の範囲外であるが、関東東方はるか沖（三重会合点付近）でM5.6（12日14時02分、深さ58km、無感）の地震があった。また、新潟県

南部（津南町付近）でM4.5（27日11時17分、深さ2km）の地震があり、局所的に被害（体育館、住家等の一部破損）があった（本巻別項参照）。

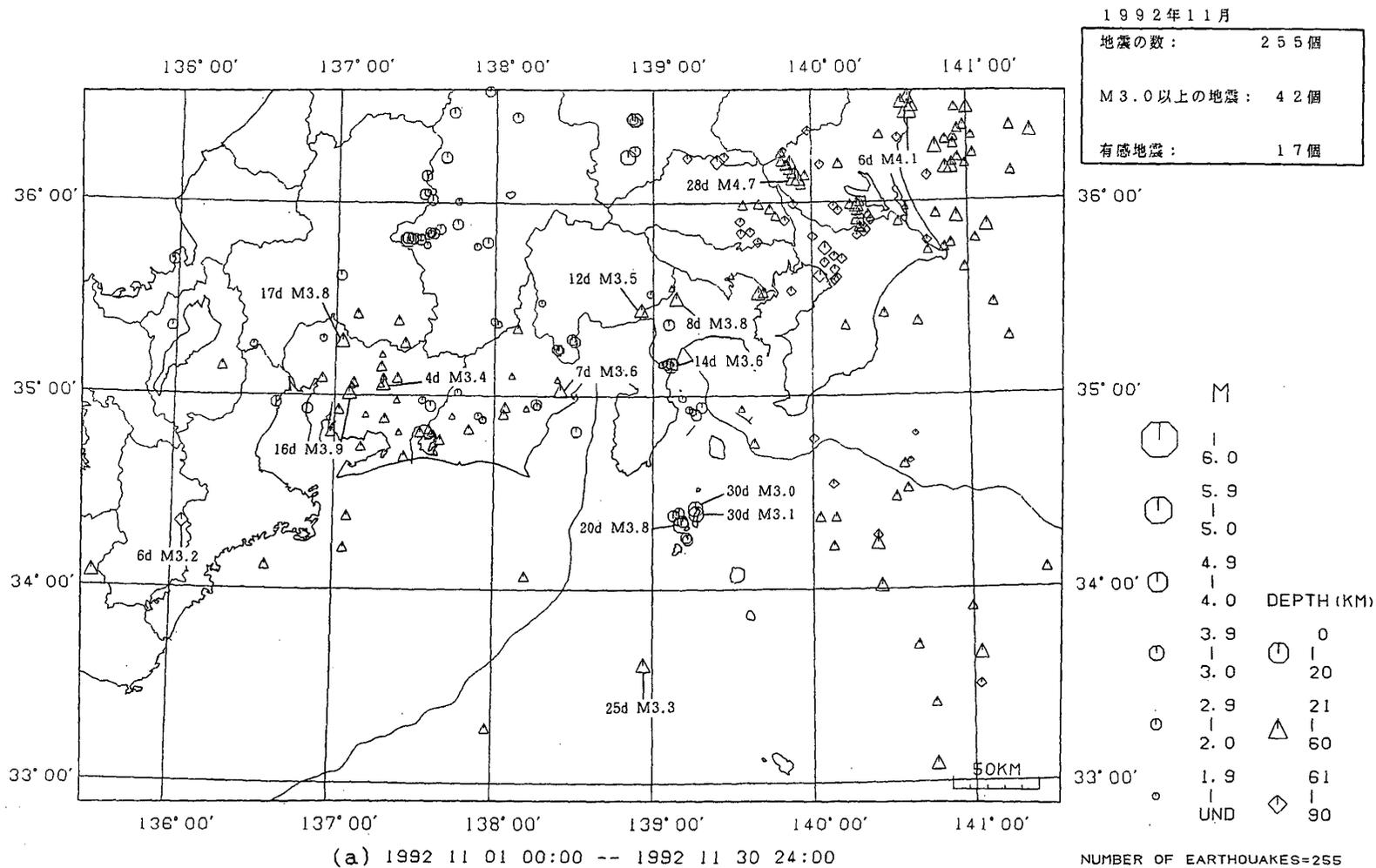
1月：Mの最大は愛知県中部のM4.8（11日09時58分）、深さ54kmで最大震度は3（名古屋など）。東海地域は上記愛知県中部のM4.8の地震の他は、特に目立つ活動はなかった。静岡県南西部、東海道はるか沖でM3クラスの地震があり、静岡県中部（焼津付近）で微小地震がいくつか発生した。焼津付近の地震は24日から26日にかけて散発的に発生し（9個決定、いずれも無感）、最大の地震はM2.9、深さ13kmだった。伊豆半島東方沖では、10日から18日にかけて小規模な群発地震活動があった。周辺地域では、新島・神津島近海で12日に新島北部付近を中心に群発地震（Mの最大は3.7）があるなど、やや活発な活動が続いている。また三重県北部でM3クラスの地震、和歌山県中部でM4.3の地震があった。

2月：Mの最大は銚子付近のM3.9（19日01時45分）、深さ38kmで最大震度は1（銚子）。東海地域は内陸部でM3クラスの地震が4個ほど発生した。静岡県北部でM3.1、深さ24kmとM3.2、深さ24km（5日）の地震があった。また、静岡県北西部、愛知県中部でM3クラスの地震があった。伊豆半島東方沖の活動レベルは低下した。周辺地域では、M4.0以上の地震はなく静穏だった。新島・神津島近海では15日にM3.5を含む群発地震があるなど活動が継続している。また、紀伊半島南東沖でM2クラスの小規模な群発地震活動（2日に始まり17日頃から地震回数が増加）があった。

3月：Mの最大は神津島付近のM3.9（25日02時09分）、深さ10kmで最大震度は4（神津島）。東海地域は特に目立った活動はなく、静穏だった。静岡県中部でM3.3（7日）、深さ24kmの地震があった。愛知県中部、愛知県西部でM3クラスの地震があった。伊豆半島東方沖ではM3.6（17日）、深さ12kmで最大震度2（網代）の地震があったが、活動レベルは低い。周辺地域では、前月に引き続き、M4.0以上の地震はなく静穏だった。新島・神津島近海ではM3クラスの地震が3個あるなど活動が継続している。神津島付近で25日上記の地震が発生した。また、紀伊半島南東沖で2月に引き続き小規模な群発地震活動があり、4日にM3.1の地震2個が発生したが3月中には収まった。

4月：Mの最大は長野県西部のM5.1（23日05時18分）、深さ11kmで最大震度は2（飯田）。東海地域は静岡県西部、浜名湖付近、東海道はるか沖でM3クラスの地震があった他は、特に目立った活動はなく静穏だった。伊豆半島東方沖の活動レベルは低い。周辺地域では、長野県西部で3月から除々に増加していた地震回数が4月に入り急速に増加し、上記M5.1の地震が発生した。余震活動は順調に減衰する傾向にある。その他、神奈川・山梨県境、新島近海でM3クラスの地震があった。

東海・南関東地域の地震活動



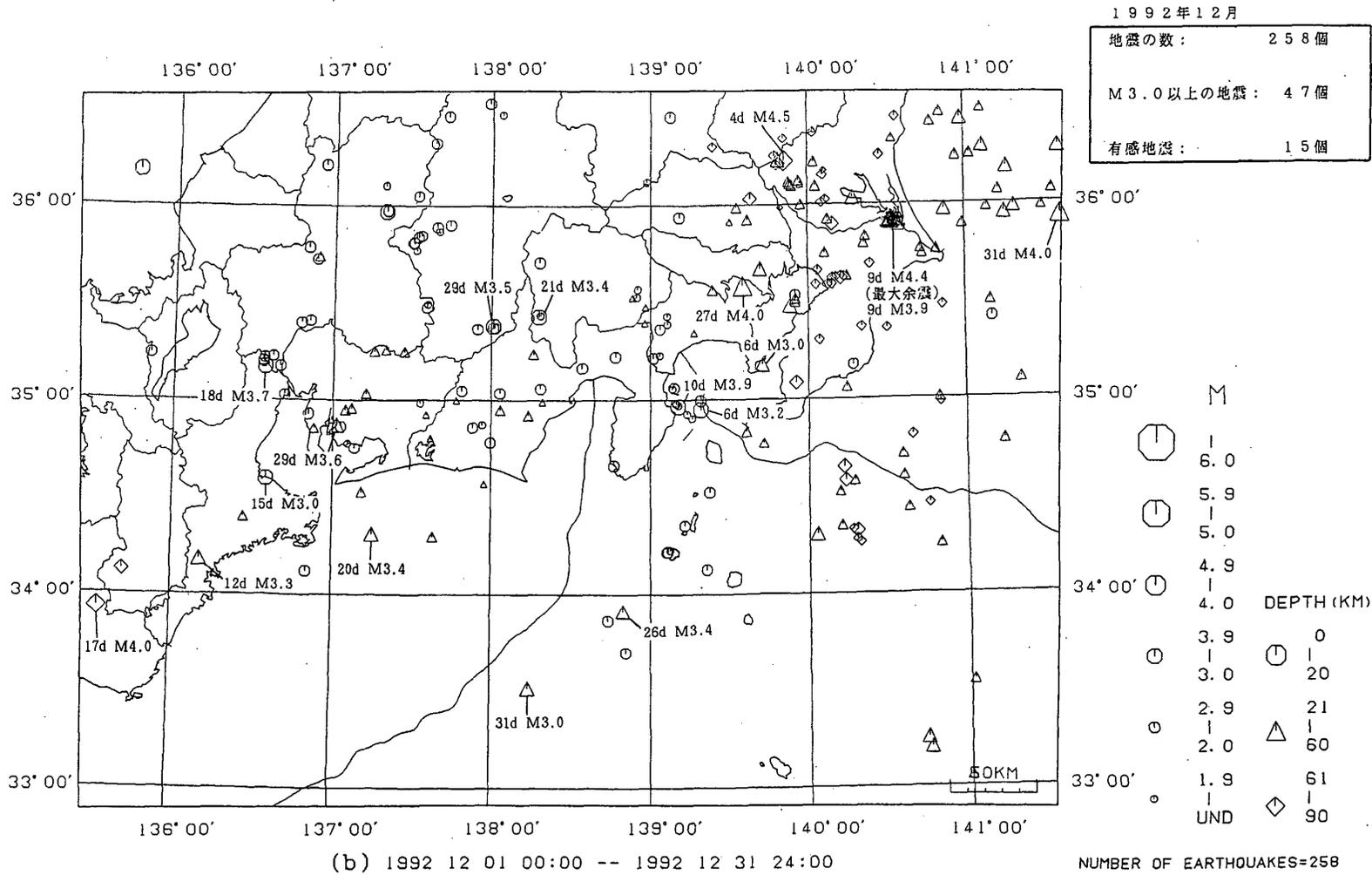
暫定

(気象庁のほか、東京大学・名古屋大学・防災科学技術研究所のデータ使用)

第1図(a)~(f) 東海・南関東地域に発生した地震の月別震央分布 (1992年11月~1993年4月)

Fig.1 (a) - (f) Monthly earthquake epicenters in the Tokai and Southern Kanto Districts for November, 1992 - April, 1993.

東海・南関東地域の地震活動

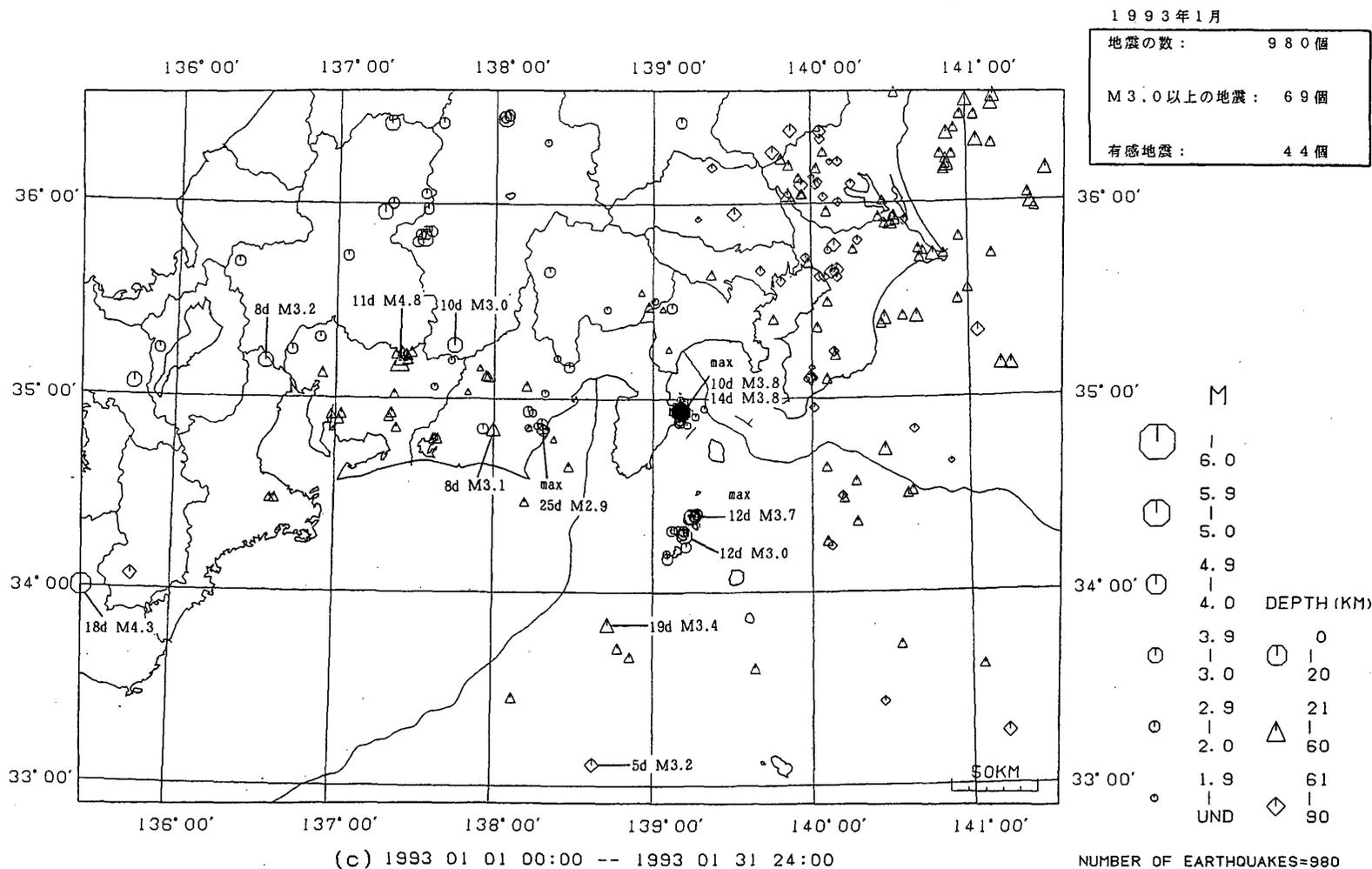


暫定

(気象庁のほか、東京大学・名古屋大学・防災科学技術研究所のデータ使用)

第1図 つづき
Fig.1 (Continued)

東海・南関東地域の地震活動

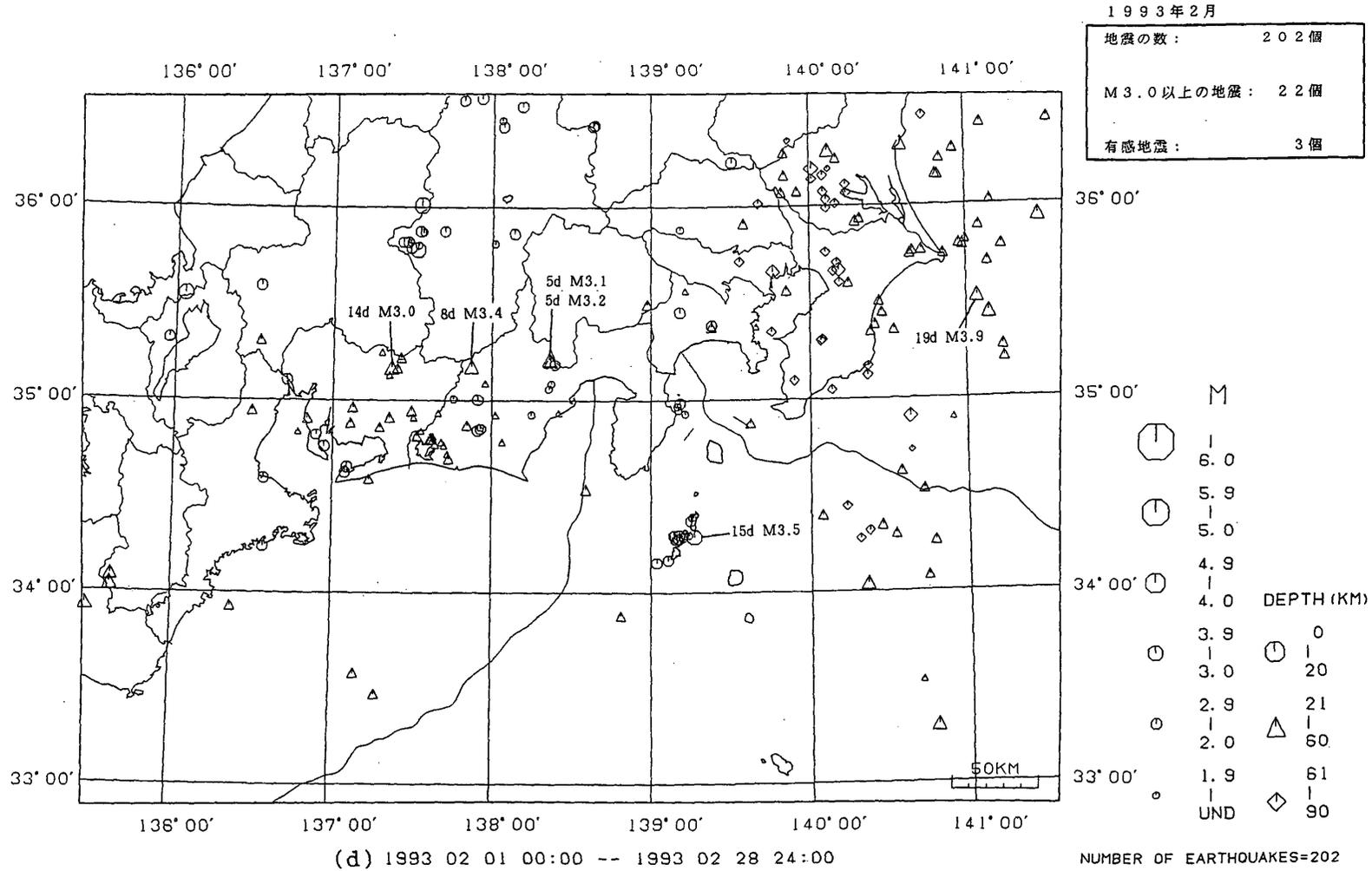


暫定

(気象庁のほか、東京大学・名古屋大学・防災科学技術研究所のデータ使用)

第1図 つづき
Fig.1 (Continued)

東海・南関東地域の地震活動

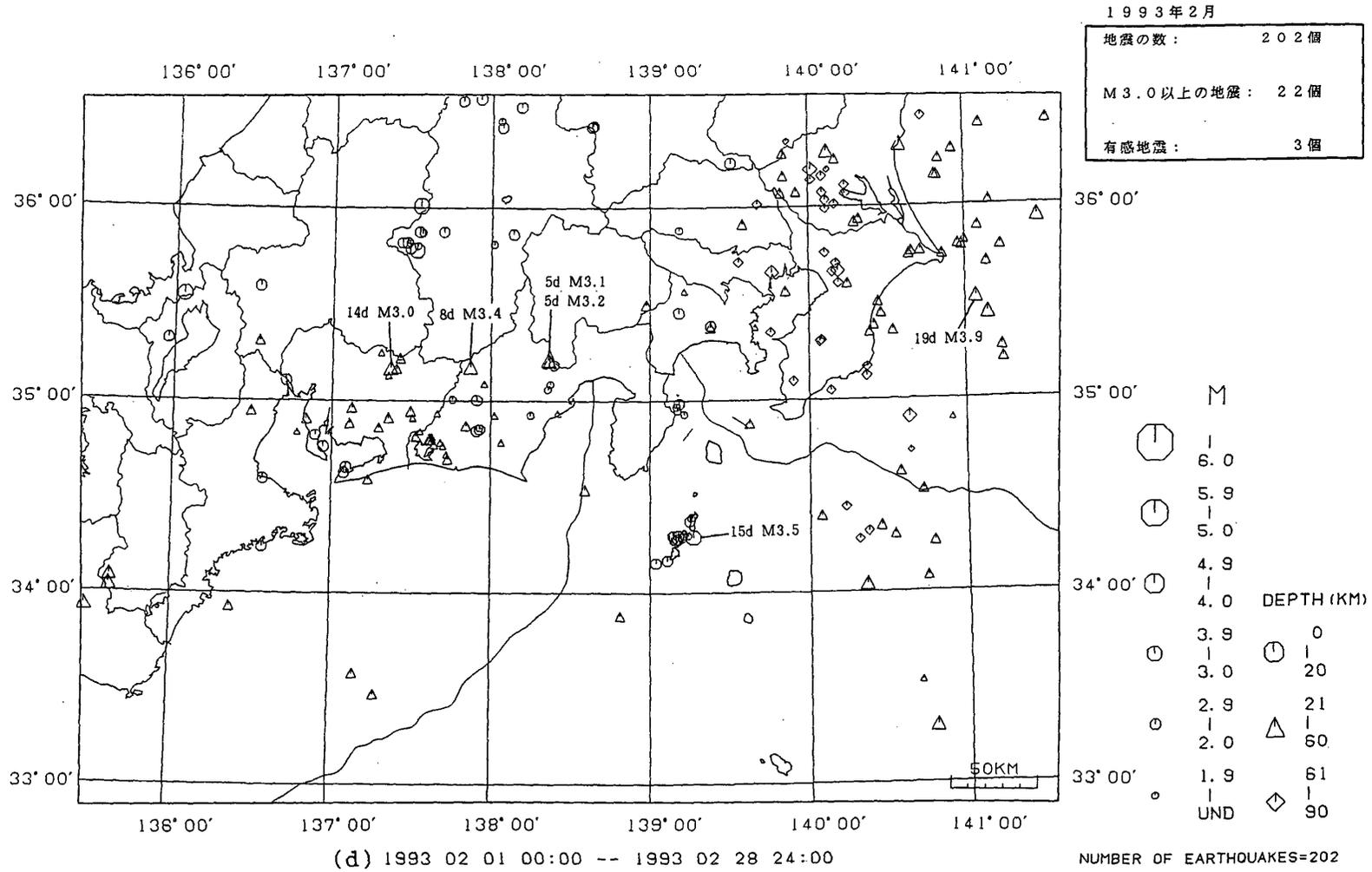


暫定

(気象庁のほか、東京大学・名古屋大学・防災科学技術研究所のデータ使用)

第1図 つづき
Fig.1 (Continued)

東海・南関東地域の地震活動

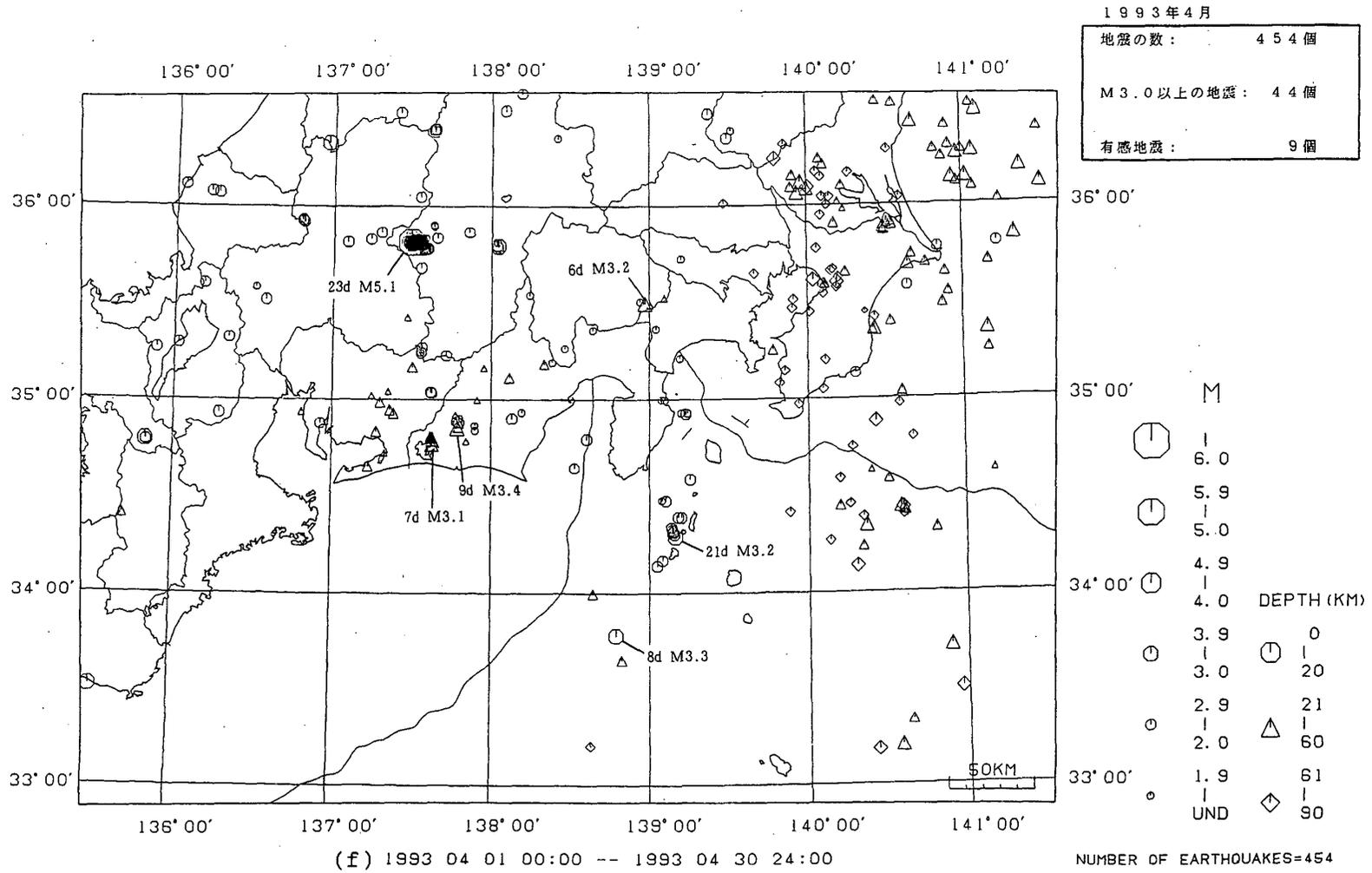


暫定

(気象庁のほか、東京大学・名古屋大学・防災科学技術研究所のデータ使用)

第1図 つづき
Fig.1 (Continued)

東海・南関東地域の地震活動

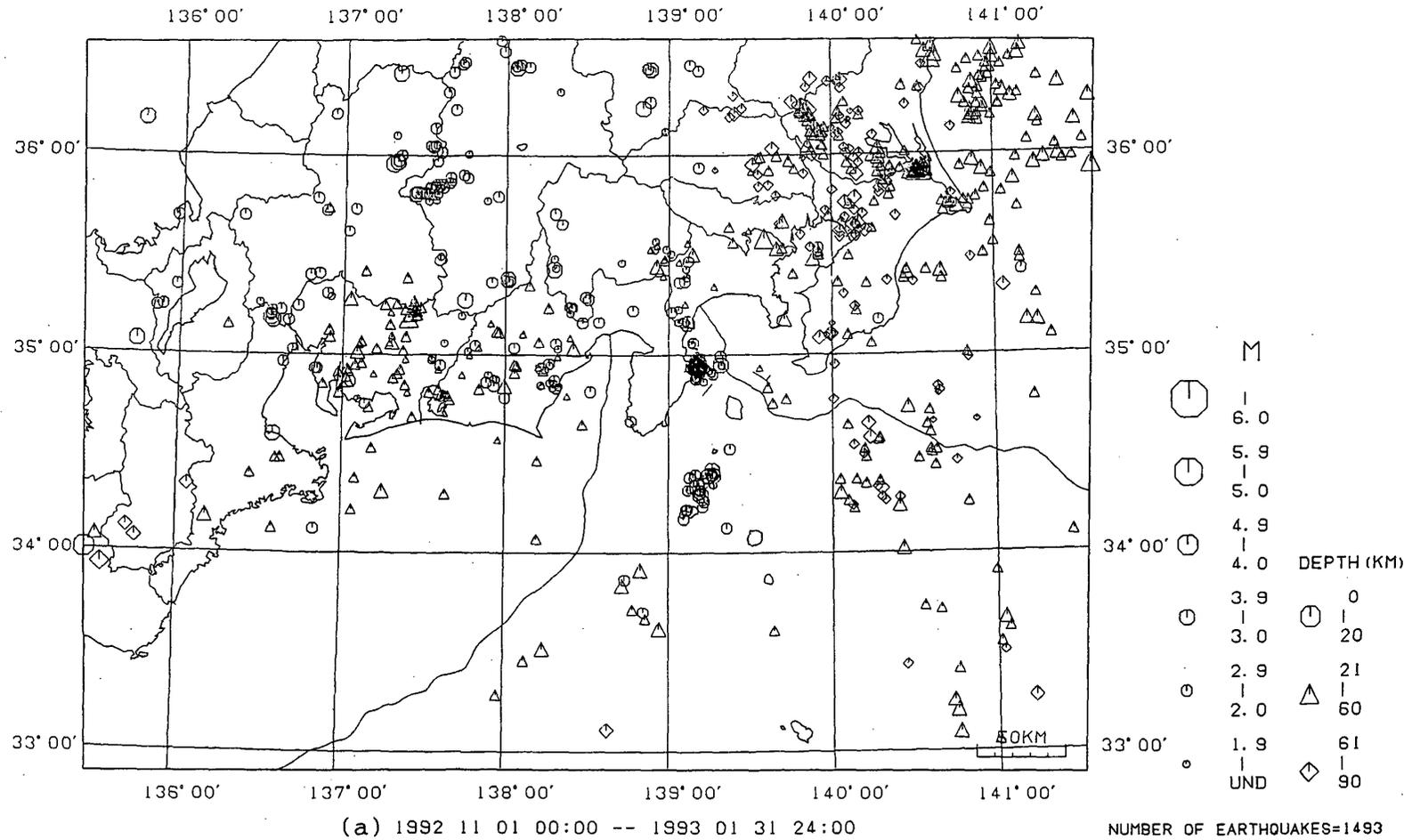


暫定

(気象庁のほか、東京大学・名古屋大学・防災科学技術研究所のデータ使用)

第1図 つづき
Fig.1 (Continued)

東海・南関東地域の地震活動

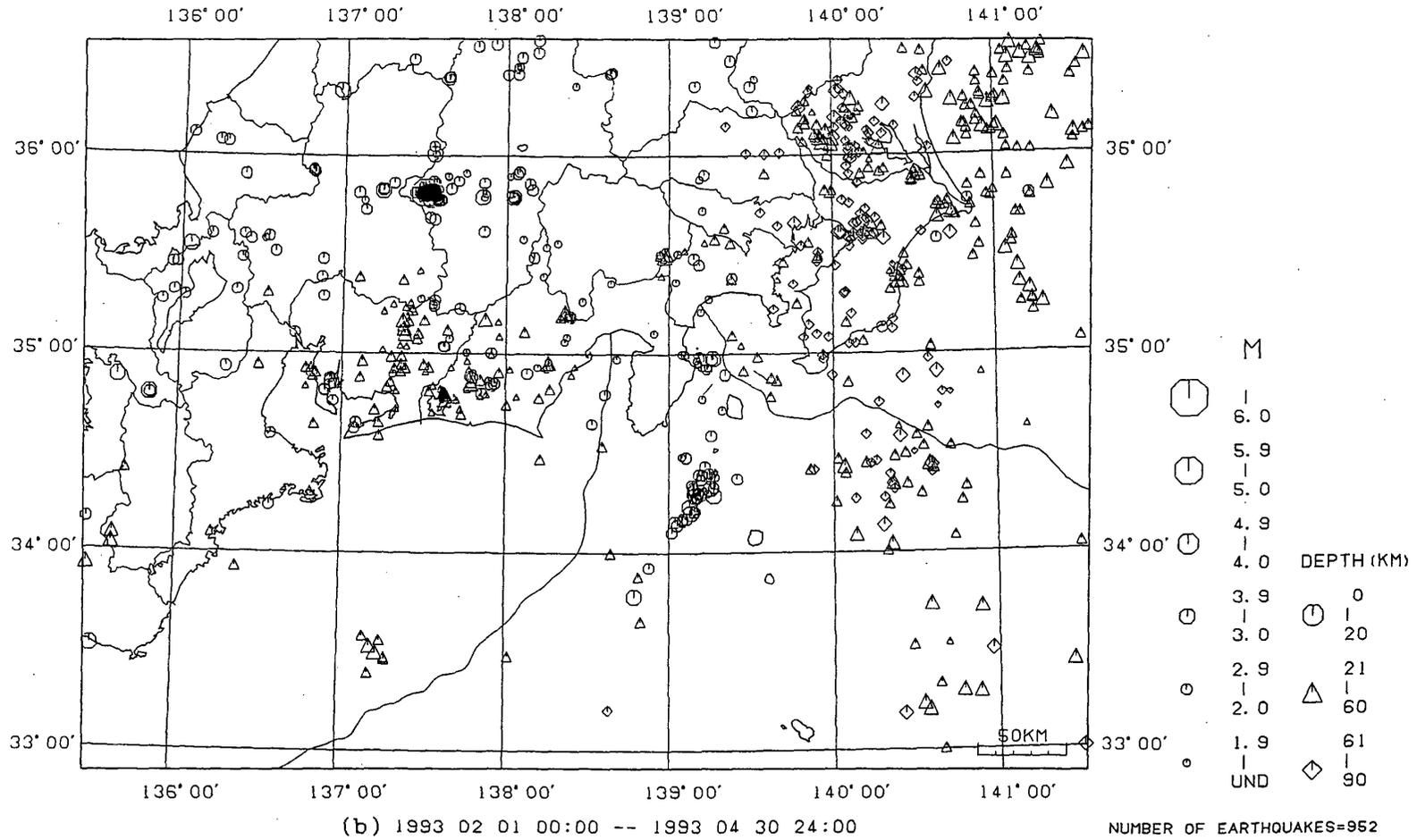


暫定

(気象庁のほか、東京大学・名古屋大学・防災科学技術研究所のデータ使用)

第2図 東海・南関東地域に発生した地震の3か月毎の震央分布 ((a)1992年11月～1993年1月, (b)1993年2月～4月)

Fig.2 Quarterly earthquake epicenters in the Tokai and Southern Kanto Districts for (a) : November, 1992–January, 1993 and (b) : February–April, 1993.

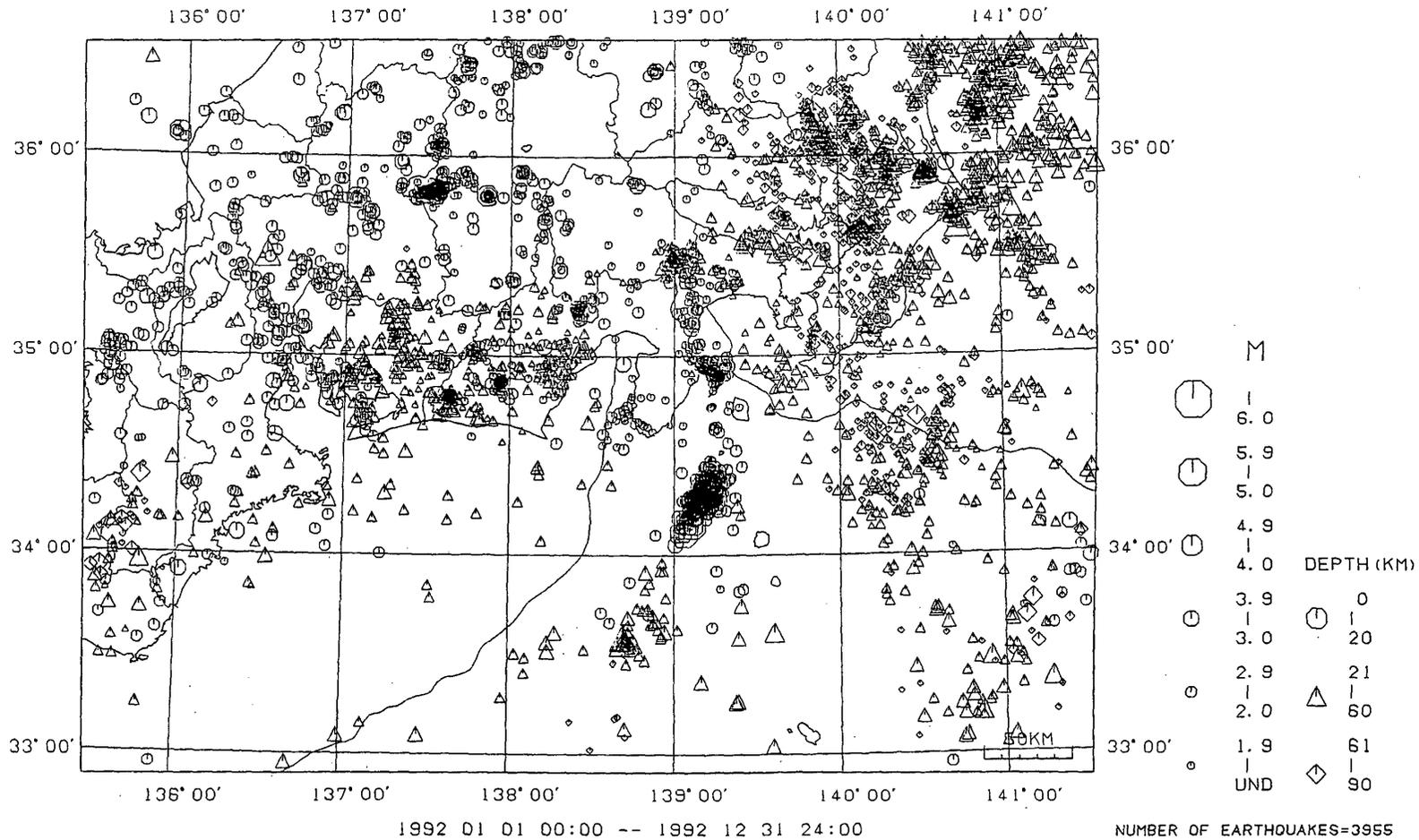


暫定

(気象庁のほか、東京大学・名古屋大学・防災科学技術研究所のデータ使用)

第2図 つづき
Fig.2 (Continued)

東海・南関東地域の地震活動



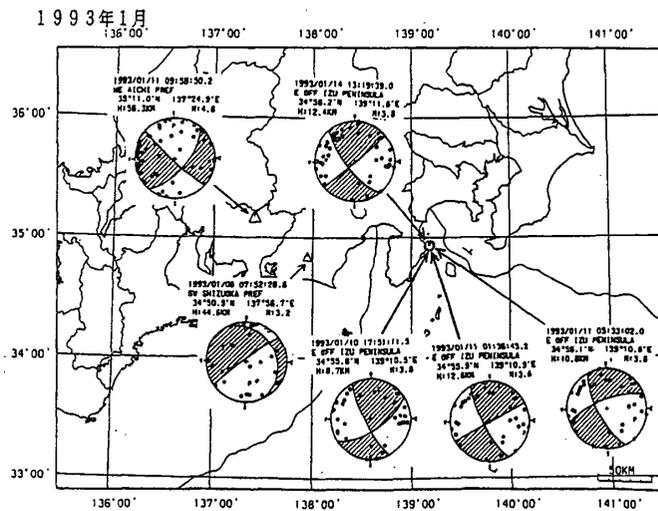
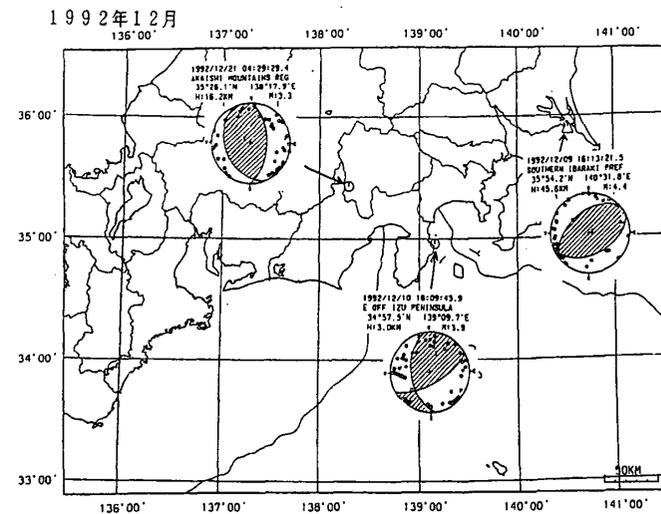
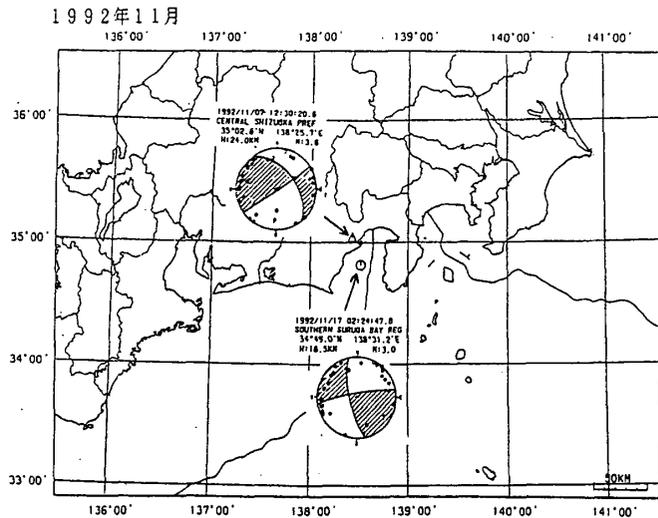
暫定 : 1992年 9月→

(気象庁のほか、東京大学・名古屋大学・防災科学技術研究所のデータ使用)

第3図 1992年1月～12月の東海・南関東地域に発生した地震の震央分布

Fig.3 Earthquake epicenters in the Tokai and Southern Kanto Districts for January-December, 1992.

(a) 発震機構解 (1992/11~1993/1)



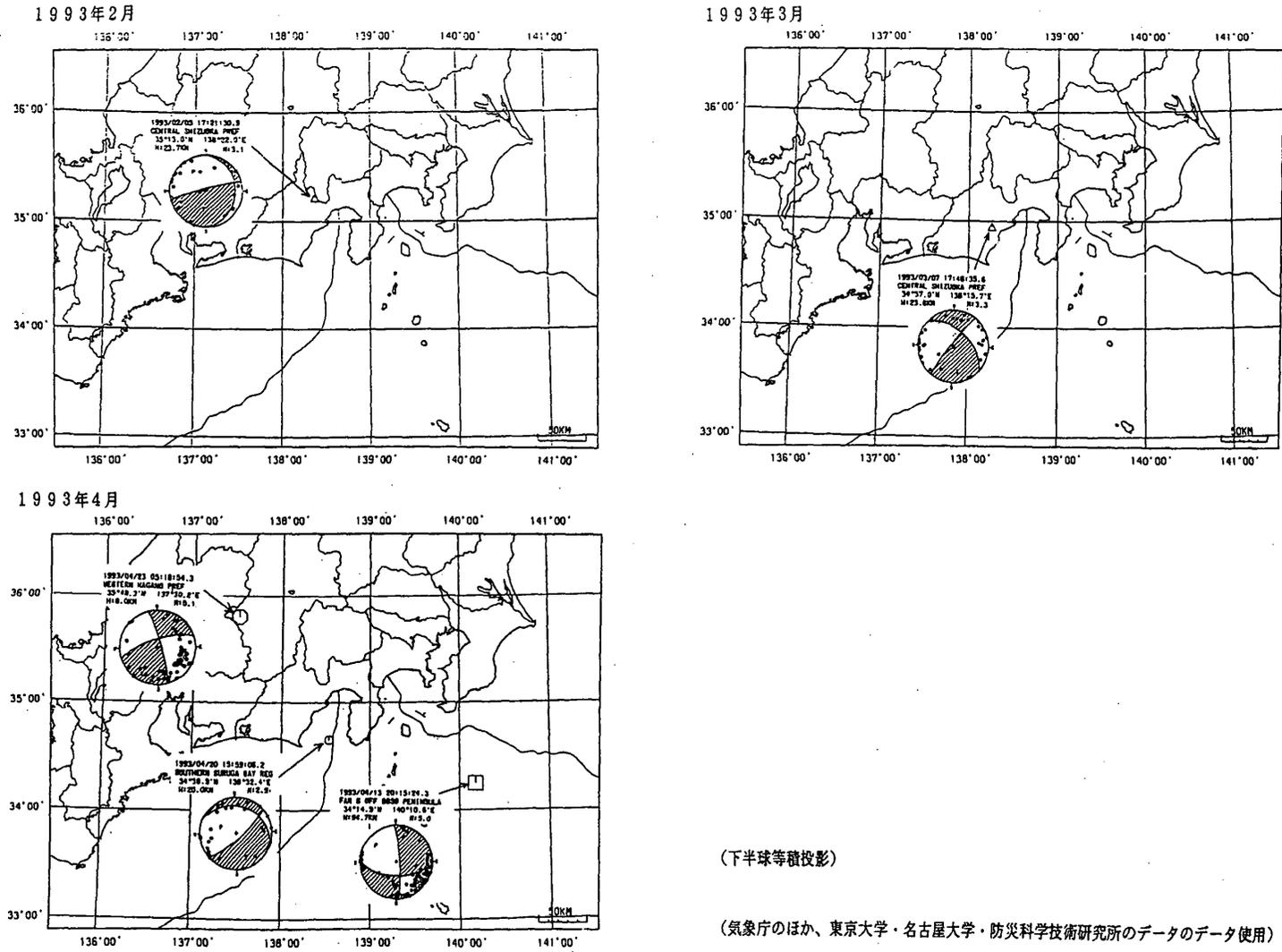
(下半球等積投影)

(気象庁のほか、東京大学・名古屋大学・防災科学技術研究所のデータのデータ使用)

第4図 東海・南関東地域に発生した主な地震の3か月毎の発震機構解 (a)1992年11月~1993年1月, (b)1993年2月~4月

Fig.4 Quarterly focal mechanism solutions of main earthquakes in the Tokai and Southern Kanto Districts for (a): November, 1992-J January, 1993 and (b): February-April, 1993.

(b) 発震機構解 (1993/2~1993/4)



第4図 つづき

Fig.4 (Continued)